

2007年（平成19年）12月19日（水曜日）掲載

渡辺製作所

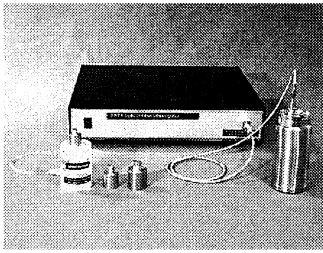
温度・圧力を遠隔監視

光ファイバー使用 システム開発

通信用機器開発・製造の渡辺製作所（さいたま市、渡辺伸治社長）は光ファイバーによって温度や圧力、張力を遠隔計測できるセンシングシステムを開発した。鹿児島大

学、埼玉県中小企業振興公社などの産学官共同研究の成果を生かした。地震、火災、ビルの倒壊、橋の落下などの災害を監視・予測するシステムに

経済産業省の「地域新生コンソーシアム研究開発事業」として二〇〇五―〇六年度に県産業技術総合センター、HIOKIなどと共同研究を実施。その成果を基に、渡



「価格は百万円を切り、取り付けもしやすく、信頼性に優れる」という。影響を受けず、安定性、

「二波長プッシュアップル反射計測方式」は光ファイバーの端面に、多層膜のファイバーを形成してセンサーヘッドとし、二波長の光を反射させて計測する仕組み。従来システムに

従来システムの数分の「測システム機器メーカー」という。同社では開と提携し、本格的に販売した新システムを、計する考えだ。